

平成24年度 第7回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 本庁地区① ～



日時：平成24年7月17日（火）  
午後7時00分～8時30分  
場所：本庁舎7階第5委員会室

## 参加者

自治会連合会第一支会、自治会連合会第二支会、自治会連合会第三支会、自治会連合会第四支会、北公民館運営協力委員会、中央北部地区地域子どもサポート委員会、北公民館登録グループ、川越小学校PTA、月越小学校PTA、今成小学校PTA、初雁中学校PTA、川越小学校育成会、月越小学校育成会、今成小学校PTA、の皆さん 32名

## 出席者

市長、風間副市長、宍戸副市長、政策財政部長、総務部長、市民部長、福祉部長、都市計画部長、建設部長、学校教育部長

## 意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	2	健康ふれあい入浴・敬老マッサージサービス	15
		子育て中の方が相談できる場所	17
教育・文化・スポーツ	11	子どもサポート委員会のPR	4
		子どもサポート委員会の備品置場	4
		運動施設の使用料金	5
		災害時の公共施設の貸し出し	5
		独立公民館の今後	9
		パイプオルガンの設置	10
		学校週5日制の影響	12
		土曜日の授業の復活	12
		中高生の居場所	17
		キャリア教育	20
校種間連携	20		
都市基盤・生活基盤	5	桜の植樹	3
		東明寺公園	5
		旧町名の表示	10
		川越市駅の反対口の開設	15
		初雁球場の駐車場	22

環	境	1	外国人への家庭ごみの分け方・出し方の周知	22		
地域社会と市民生活	11		掲示板の掲示物	3		
			道路表示	3		
			自治会館	10		
			防犯パトロール	10		
			自転車専用レーン	10		
			青少年関連団体の連携	12		
			信号機の設置	12		
			出張所の設置	15		
			自治会長の変更手続き	16		
			駅に市の窓口を	16		
			学校区と行政区の統一	22		
行	財	運	営	1	市役所の対応	5
	計	31				

## 意見交換（要約）

### 《掲示板の掲示物、道路表示、桜の植樹》

**意見** 1つ目としては、掲示物が北部地区は比較的多いんですが、町の中には掲示板が少ない関係で北部地区にたくさん集まっているんですが、終わってから、なかなか業者の方が回収に見えないんですね。自治会長あてにきた掲示物については回収できるんですが、それ以外ははがしちゃっていいものかどうか、ちょっと躊躇するところがありますので、ご面倒でも認可する課では、終わりましたら早めの回収ということでもってお願いしていただければと思っております。

2番目として、子供さんの通学路、特に信号機のないところですが、停止線が消えているところがたくさんあるんです。「とまれ」というのが全然消えちゃっているし、私もデジカメでもって撮ろうと思って行って見たんですが、消えちゃっているものだからデジカメにも写りませんもので、一挙にやると予算の関係もあるかと思えますけれども、重点的に、たくさん子供さんが通るところはできれば早めに、子供さんの停止線並びに「とまれ」というような白文字ですか、これもお願いできればと思っています。

それから、3点目ですが、これは宮下1丁目、2丁目、それから、城下、氷川町から各自治会長さんが私の家へ見えまして、今日タウンミーティングがあるのでちょっとお話だけしてもらいたいといということでもって、かわりにお話しするんですが、北公民館の前に桜があります。あれが咲いてから60年たっているそうで、もうぼつぼつ寿命なんだそうですね。あれにかわる桜の木を植えたいというのが3つの自治会の考えなんです、これは河川の堤防の法律というのがありまして、むやみには植えられないんですが、前例として、ライオンズクラブが5本ばかり5年前に植えている箇所があるんですね。したがって、多分、庁内から県のほうにお願いすれば認可がとれるのではないかというお話をして、認可がとれるように要望書を今作成しているところなんです、ひとつ要望書ができましたら市のほうにお返ししますので、ご協力していただければと、そういうようなことを言っておりますので、ご面倒でもそのときはよろしくお願ひしたいと思っております。

以上、この3つは要望、それから、お願ひということなので、すぐ簡単に解決する問題ではないと思うんですが、よろしくお願ひいたします。

**市長** 最後の桜の点につきましては、実は昨年も川越ロータリークラブがああ川に桜を植えてくれるということだったので、あれは県が堤防を管理しているので、結局認められたのが5本だけで、5本植えてもらったということもありまして、確かに

もうそろそろ新しい桜を植えておかないと今ある桜の寿命がきてしまうということで、途切れてしまうだろうということで、こちらとしても何とかいろいろ力を入れてやりたいと思っています。

**市民部長** 市民部の所管でございますので答えさせていただきます。掲示板につきましては、市のほうでお願いしている掲示板ではなくて、業者のほうでお願いしている広告ということですね。

**意見** そうです。

**市民部長** それについてはこちらで許可しておりますので、業者に徹底して早期の回収をするような形で指導させていただきたいと思います。

あと通学路につきましても、子供たちの安全・安心を確保するために非常に重要なことですので、川越小学校区でよろしいですね。

**意見** はい。

**市民部長** 通学路をチェックさせていただいて、消えている部分があれば早期にそこを新たに書きかえるような形で対応をとらせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

**意見** よろしく願いします。

#### 《子どもサポート委員会のPR、子どもサポート委員会の備品置場》

**意見** 子供さんのことについてお話をしようと思っていたんですが、かなりこの辺の皆さん、顔見知りの方が多いようで、そういう部分に関してはほとんどお話しする必要もないかなと思うんですが、御存じのとおり、川越小学校と月越小学校、今成小学校、初雁中学というふうなのをターゲットにやって、ここまで料理教室とか高校文化祭見学、県立川越高校、星野高校、そんなものやって、そのほかに4つ、5つのイベントをやっているというふうなことがあります。

ただ、2つばかり悩みがございます。悩みとしましては、この3月に、人員の減少、だんだん少なくなっているという、ボランティアの減少がありまして、そういう部分をきっかけに、各自治会経由で協力していただけるボランティアということで出したわけですが、実質的には若干1名、それも実際にお仕事をしながら云々ということで、なかなかうまくマッチングできてないという状態なんです。

この辺の1つの原因としては、子どもサポート委員会というのが、実際に知られているようで、そういう協力者が出てない。我々からすると、既にお仕事を引退された部分の方、たくさんいるかと思うので、そういう部分の協力を得たいと思うんですが、今申しましたように知名度の低さ、「どういう関係でそういうふうな活動があるの」

という部分があるんじゃないかということで、こういう部分を市の広報紙に載せていただいて、もう少しぱっと、そういうふうな宣伝を行って何とか活動する人員を増やしていきたい。実際にこの辺の中におられる方も忙しい中でお手伝いというか、委員になっていただいている方もたくさんおります。やはりかなりの負担になってきますと、「今年度で」というふうな形の部分もあるかと思えます。そういう一つの宣伝という部分、認知を広げるという部分をやっていただきたいというのを1つ申し上げたいと思います。

もう一つは、実際の活動をしているのが北公民館という部分で活動しております。北公民館はかなり古い公民館ということで、その中で実際にサポート委員会の持ち物というの、いろいろ活動するごとに、備品というほどのものにはならないんですが、どんどん増えている。置き場のスペースとして狭過ぎて、実際には我々の各家庭にも「ちょっと置かせて」という形で、私の家にもビニールプールを下に置いているという部分で、ビニールプールを北公民館に置いたらそれでいっぱいになってしまう。そんな形で、ほかのイベントグループはいいよということではないんですが、特に公共の活動をしている部分に関してはもう少しスペースが欲しいな。「庭でもどこでもいいよ、汚れるところでもいいよ」と言っているんですが、実際のところ場所もほとんどない。公民館自身の書類の置き場でいっぱいなんだよというふうに言われ方をしている。そういうふうな部分が2つ目の悩みということで、当面悩んでいる部分はその2つなので、何とかそういう部分のお力添えをお願いできればなと思います。

**市長** 子どもサポート委員会の広報と、それから、サポート委員会の持っているものを置く場所については、広報はいろいろな形でもっとやっていきたいと思えますし、置き場所については急には難しいかもしれませんが、建てかえとか、そういうものとは違いますので、それほど費用のかからないことだと思いますから、なるべく早く対応したいと思えます。

**意見** よろしく願います。

**《健康ふれあい入浴・敬老マッサージサービス、運動施設の使用料金、市役所の対応、東明寺公園、災害時の公共施設の貸し出し》**

**意見** まず、福祉対策としてやっております65歳以上の入浴券が12枚のところ6枚、マッサージ券が2枚のところ1枚、これは平成23年度より実施されましたが、なぜこのような削減の仕分けがされたのか、お教え願いたい。それから、これに付随してもとに戻す、復活の見通しはあるのか。以上が福祉の問題です。

それから、2つ目は、私もずっと運動をやってきましたものですから、川越市の運

動施設に対する使用規程、それから、使用料金、恐らく御存じのようにアンバランスになっておりまして、例として市民体育館が建て直ししております。今までここでやっておった、名前を挙げれば卓球部、それがジプシー生活をしている状態になっています。というのは、武道館は武道場で使えない、公民館は場所によってイエスとノー、こういう使用規程ですから、今は急場しのぎでございませけれども、どうするか。

それから、使用料金でございませが、今運動公園のトレーニングセンターは300円、それから、運動公園の柔道場は1時間100円、陸上競技場もそれなりの金額を取られます。ところが、武道館の剣道、柔道、弓道、団体は500円、個人は終日50円、これはスポーツ仲間にとって不公平な論理が生じてくるのではないかと。恐らく今に始まったことではないので難しい問題だと思いますが、例えば施設の人件費、電気代、並びに使用料金と合わせて無駄遣いはないのか。これを蒸し返すと恐らく柔道、剣道、弓道のほうから反発があるかと思いますが、この辺も抜本的に見直しをお願いしたい、このように思います。

それから、3つ目、これは行政の問題にかかわりますけれども、対応が非常に甘いというか、後になって感じる人が多いんですけれども、神明町には東明寺公園というのがあります。ここの外灯が切れました。私は市役所に電話しました。恐らく公園管理課とか言っていました、1週間たっても何の返事もなし。それでたまたま前を通った市議員に見てもらって、調査してくれと。すぐウィークデーで市議員から市役所に言ったと思います。本人から電話がきました。あれは県の所有物だよと。1週間も放り出して置いて、それで市議員が尋ねたら、県の所有物だよ、こう言っております。ではどうするんだと言ったら、市のほうから県に連絡します。そしてついたのが1週間後、いわゆる20日間かかっているんですね、これ。

別に20日かかっても構わないんですけれども、この問題として、市民相談を受けるような窓口はないものか。これは松戸でしたか、すぐやる課、まねることはないと思いますけれども、何でも相談室みたいなのを設置したらどうなんだろうかと。1週間も放り出して置いて、なおかつそこから1週間、それも市民が言ったら返事なし、議員が言ったら返事あり。これは明らかに市民の声より議員の声を、バジが怖いのか、そういうことを感じます。

したがって、また県の管理になっていけば、川越市並びに神明町に早く移管できないものか。現実的にはごみも何もかなり置かれていきます。だれも整理しません。私とうちの女房で一生懸命公園をきれいにしています。これから恐らく始まるごみの有料運動でも、日本語も通じない、中国語、韓国語の人はいっぱいいます。この人がゴ

ミを出して行ったら東明寺公園はごみだらけになります、これは。そういう意味で県から川越市神明町への早めの移管をお願いしたいと思っております。

最後、4つ目ですけれども、地震もくる、台風もくるという、これに伴って公共施設の貸し出しをそのときは使用中止にするか、延期にするかしていただいたほうがよろしいのではないのかな。例えば運動公園、これから宮元町にできる市民体育館、それから、オアシス、武道館、特に耐震としては武道館ですか、1,050円で買って全国的に有名になったあの建物は、早い話が無駄ではないのかなど。壊すと言っても壊すほうが高いでしょうけれども、そういうことを考えて、もし何かあったときに、貸し出ししていた、つぶれた、川越市が貸し出しをしているんだ。それだったら、逆に地震の予報があるとか、大きい台風がくるときは貸し出しを中止にしちゃったほういいんじゃないのかなというふうに思います。

以上、4つでございますが、よろしく願いいたします。

**市長** 1番目の入浴券、マッサージ券の枚数を減らしたことについては、1つは、やはり行財政改革の一貫としてなるべく費用を切り詰めたいという、そういう考えが1つと、それから、比較的この2つについては使われたいというか、ご要望が少ないという、そういうデータがありましたので、枚数を減らさせていただきました。今のところ戻すという考えはないですが、いろいろな方からぜひという、そういうご要望の声が大きいようであれば、また検討させていただきたいと考えています。

それから、運動公園の使用規程、料金については、私初めて聞きましたので、これについては検討させていただきたいと思います。

あと東明寺公園について、もし県の所管だったら、市の対応としては「それは県のものだから、県に言っておきますから」というくらいのことはやはり職員としては対応すべきだったと思いますので、対応が不適切であった点についてはおわびを申し上げます。

それから、公共施設の貸し出しを台風のとときか地震のときは中止したらどうかということですが、これについては実際にどういう場面で貸すのを中止するかどうかについては、現在でもそれなりにやっているとは思いますが、貴重なご意見として参考にさせていただきたいと思います。

**市民部長** 前の所管でお答えさせていただきますけれども、体育施設の使用料、結局は施設ができたときに幾らにしようかということで使用料を設定させていただいております。ですから、武道館は昭和四十何年にできましたので、その当時の費用対効果というか、維持管理費とかそういうものを参考にしながら算定した。ところが、体



育館につきましてはやはりそれよりは新しい施設ということで、平成になってからできた施設ですので、その時代に合ったような形での使用料を算定しています。

実際には、先ほどおっしゃったとおり、卓球をやる人と柔道をやる人と同じスポーツ、汗を流すのであれば、使用料についてはある程度一定のほうがいいのではないかとのことですけれども、なかなか難しいのは、武道館を例えば1日使っても50円というときに、そのほかの施設の兼ね合いがあるので、それを100円に上げさせてくれないかと言いたいのはやまやまですが、それを理解していただきにくいというのが今の現状ですので、なかなか値上げするというのは難しいと思います。

あと今、施設の使用料を上げようとするれば、あの施設の使用料を上げるということは、非常に古い施設ですから今なかなかできませんので、やはり今度できる新しい市立体育館ができるときに、また新たに、そういうスポーツの差別というか、料金の差別化をなくしていけるような形でやっていきたいと思っていますので、あとは文化施設についても、参考でございますけれども、今度西口に文化施設ができますので、文化施設全体の使用料金の見直しというのを今やっておりますので、その辺をご理解いただければと思います。

それとあと東明寺公園というのは、あそこの交番のあるところですね。

**意見** そう。

**市民部長** もともと県の駐在所があったところなので、それにつきましてちょっと担当と話をさせていただいて、できるだけそういう外灯の維持管理については市内なり、神明町なりに所管替えという形でちょっと話させていただきます。

**意見** いきなり神明町も困っちゃうけれども、市に。

**市民部長** わかりました。そういう形で話させていただきます。そうすれば対応も早く進むと思いますので。

**意見** それから、今の料金の問題で非常にネックになるのは、武道館の職員の人件費、人件費ね、それから、光熱費、これの川越市で抱えている予算があるわけですよ。これと、今度は歳入の部分の、1日50円という歳入部分でどのくらい差が出てくるのか。これは逆に言えば、きちんと使っている競技者にスポーツ部のほうから説明をして、幾ら昭和40年代のものでも現状に合わない、それから、人件費としても合わない。これは上げてもらいたいというふうなことをやらないと、テニスもあれば、陸上もあるし、いろいろなものがあるし、何であの場所だけそうなんだと。人によると地震がきたらすぐ壊れるからいいんだと言うけれども、それでは中にいた人は死んじゃうんだからね。その辺もよく考えて、使用については運動公園で、施設があるんだ

から、そっちに移動してもらおうとかしてやらないとクレーマーになるかもしれない。

### 《独立公民館の今後》

**意見** 1点目は、公民館そのものが全市的に見ると市民センター化されて、機能が幾つか集合されて、非常に機能的になったり、新しくなっています。例えば高階公民館を筆頭に幾つかあるわけですがけれども、町の中の北公民館、中央公民館は独立公民館として今存在しているわけです。将来、地域的に、あるいは長期的に見て、独立公民館というのは行政の中でどういうふうにしようとしているのか。そういう計画が市長さんの頭の中にあればですね。と言うのは、根も葉もないうわさかもしれませんがけれども、行政の経費節減が1つ、それから、地域住民の身近な生涯教育の発信なり実施事業の拠点として、そういったものは委託事業みたいにして民間の力を活用してやったほうがいいという考えがあるのか、ないのか。これは全く根も葉もないうわさでございましてけれども、そんなこともちょっと耳に入ったりしていますので。

将来、独立公民館、さっきも言っていましたけれども、ある面で見ると北公民館なんかも施設が相当古くなってしまっていて、スペース的にもリニューアルしてほしいなという要望、それから、直近の例で見ますと、氷川の児童公園を北公民館の駐車場に移したものですから、駐車場が70台置けるスペースが40台に、30台置けなくなった。だから、イベントすると車で来た人が駐車する場所がない。もちろん児童公園が必要だという申請も多分しているんだと思いますが、それはそれで結構なことなんですけれども、そういうしわ寄せが公民館の一部にきているということもあるし、施設を新しくしてほしいなという点と、それから、将来独立公民館を委託事業にしかねないなという考えが市長さんなり、教育部長さんなり、要するに教育局から離して、そういうことは考えているかどうか。僕個人としては今の形で残してほしい。なぜならば、生涯教育の大変な発信の場所だし、住民にとっては利用度が高く、非常に活用度が高いものですから、ぜひ独立公民館として行政の管理の中で続けてほしいなという気持ちがあるんですけれども、それは古い公民館の施設の改修計画とか、前段で申し上げました委託するようなお考えがあるかどうか。大変答えにくい内容だと思いますけれども、もし差し支えなかったら伺わせてほしいなと思っております。

**市長** 公民館につきましては、やはり建物を建ててから随分年月がたって、そろそろ建てかえなくてはという、そういう時期にきている公民館が結構ございまして、特に本庁管内でない周辺地域のものについては建てかえに直面したところから、今までの流れでいくと市民センターのような形で建てかえるかとか、そういうような検討になっていたのですが、市民センターというの、今構想を再検討しているところなんで

すけれども、なかなか思ったような効果を上げてないという面もありまして今検討しているところです。公民館そのもののあり方についても、検討を始めたという今の段階で特に申し上げられるようなことはないのですが、少なくとも公民館をなくすという、そういう考えはありませんので、その辺についてはもうちょっと一定の方向、結論が出るまでにあと1年くらい、あるいはもうちょっと時間がかかるかもしれませんが、検討を始めたところだというふうにご理解いただきたいと思います。

#### 《自治会館、防犯パトロール、パイプオルガンの設置、自転車専用レーン、旧町名の表示》

**意見** 1つ目に、小室の自治会館ができましたので、そちらのほうでまずお礼を申し上げたいというふうに思います。

今年の4月8日に落成式典がございました。そのときに市長さんに来ていただきまして式典を実行できました。そのときに、自治会館なんですけど、老人の憩いの家を兼ねて作りまして、防犯の拠点にもなるというふうなことで、早速6月に地域振興センターの部長さんに来ていただきまして、防犯の講座を開いて、まず、今月から防犯パトロールを実施しました。今まで防犯パトロールというのは小室の場合には月1回だったんですけれども、今年度からは2回にしようということでメンバーを増やしました。今まで自治会役員と、それから、関係団体のメンバーで構成していたんですけれども、それを今度各班長さんに広げまして、各班長さんもパトロールの一員ということで加わっていただくということで今年度から実施しました。そういうことでまずご報告をしておきたいと思います。

それから、もう一つは、先ほどちょっとお話をしたんですけれども、川越市の文化施設、川越駅の西口にできるとこれは新聞発表がございました。オーケストラピットができるということでかなりオペラの上演なんかでもできそうだという期待が持てるんですけれども、聞きましたら、パイプオルガンの設置はないよということらしいんです。私としてはぜひパイプオルガンの設置をしていただいて、東京まで行っている音楽会を、川越の川越駅をおりれば、内外の演奏家がそこで演奏して、それが聞けるという状態にしていただければなおいいんじゃないか。できれば、所沢のミューズのようなああいう立派なパイプオルガンを備えてやっていただきたいというふうに思います。それが2つ目です。

それから、もう一つは非常にこれは難しい問題なんですけれども、どこの道路も狭くて大変なんですけれども、川越市内を私はほとんど自転車で走っています。自転車の専用道というのがあるのはほんの一部でして、博物館だとか、市役所の近辺だとか

あの辺だけに限られています。どういう形で自転車道をつくったらいいのかというのは多分皆さん同じように悩みの種ではないかと思えますけれども、最近は車の運転者のほうも粗暴といいますか、かなり怖い思いをします。どうしても自転車でありながら、歩道を走らざるを得ないという状態が発生しまして、そうすると事故ということもあり得ますので、ぜひこの辺も考えていただきたいというふうに思います。

それともう一つは、ある部分では設置されているような気もするんですけども、川越市も新しくなってから旧の町名が消えました。旧の町名を復活してくれというのは非常に難しい問題だと思うので、復活そのものよりも、例えば大工町という町があった、あるいは鍛冶町という町があったんだ、あるいは鷹部屋という町があった、そういうことだけでも、その地に記念碑的なものを立てていただいて、こういうものがあつたんだ、こういう町名があつたよという紹介なり何なりしていただければいいんじゃないか。特に今の問題は、川越市は観光としてかなり来ていますけれども、大体歴史を見に来ている、歴史を学びに来ているという人が多いと思いますので、そうするとそれにかかるのかな、旧町名は。東京の四谷の駅をおりまして行きますと紀尾井ホールというのがあるんです。あの辺は紀尾井町という名前になっているんですけども、あそこは紀尾井町になった由来が書かれた碑というか、説明文が道端にあります。ああいうふうなものがちょっと川越市もできたらいいなというふうなふうに考えています。

**市長** 2番目のふれあい拠点施設、川越駅西口に県と一緒につくっている、そこにパイプオルガンもつくってほしいという点ですが、大変申しわけないのですが、もう中に入れ込む機能については決めてしまって、ここで実際の工事を発注するところの段階まで来てしまっておりますので、ちょっと無理ですね。

パイプオルガンというのは、私も所沢のミュージズを視察しに行ったときに聞いたのですが、本格的なのをつくとパイプオルガンのために一年中エアコンをつけておかなければならないのだそうです。そうすると年間の維持費が2億円くらいかかる。そういうことを聞いていますので、ふれあい拠点にパイプオルガンをつけるというのはもう時期的にも無理と、大変申しわけないのですが、言わざるを得ません。

それから、自転車専用道をつけてほしいという点と、それから、旧町名を表示するようなものをつくってほしいという、そういうような点についてですが、自転車専用道はやはり道路がある程度幅がないと、なかなか自転車のために幅1メートルなり1.5メートルなりを取るといふわけにいかないのです、道路が広がったところについてつくっていくというような、そんな考え方で進めていますので、なかなか思うように

増やせないというのが実情です。できる限り、例えば本川越から北のほうに行く道路についても今拡幅の工事をやっていますので、ああいうところについては積極的に取り入れるように進めていきたいと考えています。

あと町名の表示は、石か何かに旧大工町とか旧何とか町という、そういうものは既にあると思うのですが、由来とか、そういうものを書いた表示板、掲示板みたいなものについてはご意見を頂戴しましたので、検討させていただきます。

#### 《学校週5日制の影響、土曜日の授業の復活、青少年関連団体の連携、信号機の設置》

**意見** 2点ばかりお伺いしたいことがあるんですけども、まず、学校週5日制が始まって恐らく今10年、11年くらいたつかなというふうに思います。PTAにかかわらせていただきまして2年目になるんですけども、とにかく見ていて、子供たちも忙しそうですし、それに加えて、見ていると先生方が大変忙しそうで、これでは子供たちも、例えば担任の先生も隅々まで目が届かないだろうなということを実感させていただいております。

川越市としてデータがあるのか、私存じ上げないんですけども、例えば学力の面から言って、週5日制になってからどうなっているのかということが今もしわかれば、もしくは他の生活面等で子供に対するとか、または家庭に対する影響とかというのをもし何か把握していることがあればお教えいただきたい。

こうやって見ている限りですと、昔はよかったではないですけども、一部の自治体であるとか、私立の学校なんかはもう土曜の授業の復活等をしているところもあります。例えば川越市の公立の学校に関しては、全面的な土曜授業の復活ということではなくてもよろしいかと思うんですけども、例えば隔週で土曜日の授業を復活させるとか、もしくは学年ごとに例えば低学年と高学年に分けて復活させるとか、こういったことが可能なかどうか。特区という制度が今でも使えるかどうかわかりませんが、例えばそういうものであったりとか、もしくは中核市の権限でそういうことができるのかどうかということをちょっと伺いたいと思います。

先生がさらに大変になってしまうかもしれないんですけども、そこは例えば結婚されて家庭に入られた先生であるとか、退職された先生であるとかという方の活用をしたり等々していけば、例えば今、結構小学校4年生くらいから高いお金を使って塾に通っている子がいますけれども、そういう土曜の時間を使って学力向上のために何かうまく使えないかなということが可能なかどうかということをお伺いしたいと思います。

それから、もう1点、また全然別の話になって、関連しているかもしれないのです

けれども、学校週5日制になってから、土曜日に割といろいろな活動が盛んに行われていて、先ほどおっしゃっていたようなサポートができたりだとか、いろいろなNPO団体だったり、そこが土曜のいろいろな事業をやったりだとか、スポーツ団体のほうも少年サッカーだ、少年野球だ、土曜に活発に活動されているようですけれども、例えば1つの校区内で見ただけの場合に子供を対象に活動している組織や団体というのが結構あるなというのも実感させていただいております。例えばPTAもそうですし、育成会もそうですし、青少年を育てる地区会議があったりだとか、その他にも例えばスポ連さんがあって、少年少女スポーツ大会をやったりとか、サポート委員会があってさまざまな事業を行ったりだとかということが、数多くのイベントだったり事業が行われていると思います。

学校の先生だったり、私もPTA会長であったりという、いろいろなあいさつの中で、各団体ごとの連携が必要だというふうにはよく言うんですけども、なかなかうまく連携できないというのが実情なのかなというふうに思います。例えばこれは個々の努力で、それぞれの組織間で、事業の数であったりとか、時期であったりとか調整すれば済む話なのかもしれないんですけども、例えば子供相手に活動している団体に関しては、行政の側でも補助金が教育委員会から出ているもの、青少年課から出ているものというものをある程度まとめてわかりやすい形にさせていただいて、各地域が連携をとりやすい形にするとか、そういったことが考えられるのかどうかということも1点伺いたいと思います。

あとは、これはいまだに校区の話なんですけれども、熊野神社の前の通りからいもの子作業所に向かう通り、ちょうどいもの子作業所の入り口のカーブのところは大変見通しが悪くて、なおかつ朝夕の通勤時間帯は非常に車の往来も多いものですから、地域の保護者の方から、手押し信号でいいからつけていただけないか、設置していただけないかというお話が先日交通安全の講習の中から出てまいりましたので、ご報告というか、お願いさせていただきたいと思います。

**市長** 土曜日に学校をやるようにしたらどうか、簡単に言えばそういうお話だったと思うのですが、これは後で学校教育部長から補足してもらいますけれども、私の記憶では、学校5日制というのは法律で決まっているから、公立学校では土曜日に授業をやるわけにはいかない、それが現状だと思います。

もちろん私立の学校は、公立学校ではないから、思うように土曜日も授業を入れるとか、そういうことができますし、何か昔の補習みたいな形のことを土曜日にやるようにしているというような、そんな話を聞いていますけれども、いずれにしても、5

日制で毎日がかかなりタイトなスケジュールを、土曜に授業を入れることによってならかにして、1日当たりもう少しゆとりが生み出せるようなそういうふうにしたらどうかという、そういうご意見はいろいろなところから頂戴しておりますので、そのようなやり方でそれができるのかどうか、ちょっとその辺のところもこれから検討していきたいと考えています。5日制にした結果の影響がどんなところに出ているのか、出ていないのか、ちょっとその辺については知識がありません。

それから、子供を対象にしている団体間の連携を図るために行政のほうで何らかのことができないかということですが、こういうような団体がありますよということは、そういう情報提供といいますか、それはまとめて皆様方に提示することは比較的たやすくできることだと思いますので、そういうようなことからやっていきたいと思えます。

あと最後の信号機の問題については、これは信号機をつける、つけないは警察、公安委員会の問題なので、そういうご要望があるというのは警察のほうにお伝えしますが、できれば自治会長さんとか、そういうところからの要望書を書面の形で出してもらいたいほうが警察に対しても通りはいいと思います。

**学校教育部長** 土曜日に学校をしてほしいというのは、確かに市長の言うとおりの、要望等あって、実は全国的な状況では最初は増えていったんですね、土曜に。ところが、それをもとに戻している市町村も出てきまして、逆に子供の負担等を考えていくと、休みを2日間とれるのと、やりようによっていろいろ場面が違ってくるといった話がありました。

そういうことを踏まえまして、実は川越市教育委員会では昨年度PTAの代表の方、あと子どもサポートの代表の方、学校の代表等集めましていろいろご意見を承りました。そうした中で出てきたのは、今の段階で、学習指導要領で出されているのは学校週5日制を基本にして授業を進めていくのが今後も変わりませんというのが文部科学省の言っていることで、ぜひ2日間の休みの中で、1日でも2日でもご家庭でかかわっていただく時間を増やしてほしいというのがまず大きな理由がありました。当時、学校週5日制の前、学校に過度にいろいろな部分が依存し過ぎているという形で、さまざまな生徒指導上の課題等が出ましたので、そうした部分のことを学校にかかる比重を、負担を軽くしていこうというか、子供をいろいろな人にかかわってもらおう。そうしたことで子どもサポート事業等もやっていただいている流れが川越市ではございます。総合的な部分でこれを見ていこう。

そうした中で、先ほど話をした川越市学力向上教育課程検討委員会の中で代表の方

に意見を聞きました。根づいているのは地域の活動やいろいろな部分が出てきているので、そうした部分を大事にしたいという声も結構多いですよという話を聞きました。

では、授業時数等は少しでも確保するためにはどうしたらいいかということで、実は今年度、川越市は今まで開校記念日は休みでしたよね。例えば川越小は12月1日を開校記念日にしています。これまで、開校記念日は休日にしていただけですけども、今年から休日ではございません。あともう一つは、給食の回数についても総合的には休日が3連休になったりすると合計の日数は違うのですけれども、年間2回ほど給食の回数も増やして、川越市は結構給食の回数がほかに比べれば多いという状態で、できるだけいる間にしっかり活動できて、子供たちの有意義な時間を増やしていこう、そういうふうな形のものはいんじゃないかというような保護者や地域の方々の意見も承っている中で進めています。

学力面につきましては、川越市はおおむね、ほかのところと比べまして、全国の標準学力検査等を調べますとほぼ遜色ない状態でございます。年度によって差がありますね。あくまでも平均という問題で、個々の個別の問題になりますので一概には言えないのですけれども、これによって大幅に減少したとかということはありません。

ただ、いろいろな部分で子供たちの学力向上の取り組みというのは、家庭学習を生かしていこう。家庭学習の取り組みをどんなふうにしたら盛んになるだろうかというので、リーフレットを保護者の方々に協力してつくっていただいて、家で勉強する時間の工夫の仕方等のリーフレットを今出させていただいております。もっとお知らせを広めていったらいいのではないかと聞いていますので、またそうした部分も対応していきたいと思っております。

#### 《出張所の設置、川越市駅の反対口の開設》

**意見** 第三支会として取り組んでいる問題は幾つもあるんですけれども、その2つほどここで申し述べさせていただきます。

1つは、あそこは本庁管内ということになっております。一番西のはずれにあります。あそこの住民はこの市役所のところまでかつてはいろいろな届け物で来ていたわけですね。一番遠いんです。私の死んだ親父の代から、何とか近くに出張所を設けていただけないかという話が出ていたようなんですけれども、今それを第三支会として取り組んでおりますので、ぜひ川越市としてもこの問題について鋭意動いていただければと思っております。それが1つですね。

あと1つは、第三支会内にあります川越市駅なんですけど、川越市駅の出入り口が1つの方向だけで、そのちょうど反対側のほうはあかすの踏切になっておりまして、と



でもあそこの駅を利用している人たちの悩みの種になっております。あそこに行っていただくと踏切がなかなかあかない。そういうことで、できますれば、川越駅と同じように高架にさせていただいて、どちらからも自由に入出りできるようにしていただければということがあの川越市駅を利用している住民たちの心からの願いであります。

**市長** 1点目の小ケ谷の方面に出張所ということについては、ご要望として承らせていただきます。

それから、市駅の問題については、おっしゃられるように市駅の北側の踏切が一番長いときで連続して40分くらい開かないことがある、そういうデータがありまして、1日の間でもトータルすると9時間くらい閉まっている、そういう状況で、交通渋滞とかいろいろな面で大変困っているという実情はよく承知しています。

川越市駅も、ああいう古いままの駅ではなくて、何とか新しい駅にしたいという、そういう気持ちはあるのですが、1つは東武鉄道の対応が1つと、それから、市のほうにお金があれば、全部市でお金を出すからと、東武もいいよと言ってくれると思うのですが、市駅くらいの規模になると多分駅舎とかそういうものを含めて80億とか100億の話になってしまうと思うので、なかなかそれができないという、そういう状況です。

ただ、長期的な見通しとしては、何とか車両工場をどこかへ移してもらって、あそこを駅前広場と、向こう側にも出られるようなものが最終的にはできればいいなど、そういう構想でいますので、そういう方向での東武への働きかけはやっていきたいと考えています。そこに至るまでの暫定的というか、中期的な問題として、陸橋、歩道橋みたいなものをかけようという、そういう話は前から出ていると思うのですね。ですから、当面はそれをなるべく早く実現するという形で対応したいと考えています。

#### 《自治会長の変更手続き、駅に市の窓口を》

**意見** まず1点は、私、今回自治会長になりまして、自治会長になると変更届をあちこちで出してほしいと。ですから、行政の中で、自治会と窓口として、もし市民部長さんの下にある市民活動支援課ですか、そこが自治会長がだれからだれにかわったと受け付けたら、行政、自治会とかかわる部署に横の機能をつくっていただいて、1回で済むような方法をとっていただければいいなど。私は野田町1丁目自治会としては集団回収とかいろいろな活動をしまして、鯨井のほうまで行って変更届を出してくれとか、そういうことも多々あったんですね。今回の私が受けた環境ではなくて、ほかの自治会でもそういうことが考えられるのではないかと。教育委員会部局とか市長部局、縦の組織でなっていると思うんですが、せめて最小限度に組織を活用して窓口を

一体化していただくと大変助かると。これは民間でいいますと、民間がそういうことをしますと、まず所属の部長が問われますね。会社と対会社に対して、1カ所から、2カ所も3カ所も4カ所も同じお願いをするなんていうことはまずあり得ない。行政もそういう前向きな部分で改善していただければいいなど、こういうふうに思っております。

特に活動すると助成金を、市のほうから幾ばくかのお金をいただける状況がありますね。そうするとこれも口座名を出してください。毎回そういうことの関係が出てくるんですね。だから、これはできればそういう部分で窓口を一括していただくと大変助かるなというのが初めて自治会長になったときの私の感想です。

それから、市庁舎の問題が、移転問題というのも前から市のほうで考えている部分もあるんですが、私はふと思ったのは、本川越の駅には証明センターがありますね。それから、川越駅にもアトレのほうに、時間の問題はさておいて、サラリーマンの方が役所に行って何か証明をとるという場合においては、駅にそういう機能を持たせるようなことを考えるとサラリーマンは非常に助かるんじゃないか。1カ所に大きなものを建てることはこれは別問題として、市民である皆さんが住民票をとるとか、戸籍謄本をとるとかという場合においては、サラリーマンは駅へ行けば、何とか有効な時間を利用して、そういうものに対応できるという、これは1つの私の単純な発想なんですが、できる、できないは別として、そういうものもちょっと市のほうでお考えいただければいいかなと、こう思っております。

**市長** 1点目の自治会長がかわった場合、あるいは補助金等の振込口座について何回も届を出すという現状については、前向きに改善していきたいと思えます。

それから、市庁舎の移転問題に絡んで、駅の近くにいろいろな窓口があったほうが便利だというのは確かにおっしゃるとおりで、市庁舎、新しい建物を移転するかどうか、どこに建てるかはともかくとして、新しい建物を建てるのはかなり先になりそうな見通しですので、駅の近くにそういう市役所の機能を一定程度持ったようなものができるだけ早く設けるような、あるいは今ある出張所の機能を少し拡充するとか、そういうような方向での改善はできるだけ早くやっていきたいと考えています。

#### 《子育て中の方が相談できる場所、中高生の居場所》

**意見** 児童委員をずっとやっておりまして、北公民館で今行われている子育てサロンに関しましては10年以上、市内の公民館のサロンの最初に始めたサロンだと思うんですけども、このサロンにかかわっていていつも感じるのが、今の若いお母さんたちが何を求めているかという、やはりどこかにほっとできる場所を求めているん

ですね。10年前につくったときは親子さんが集まる人たちも少なくなってきつつあったんですが、ここ3、4年というのは、北公民館は一応15組というふうになっているんですが、15組はほぼ10組から15組、多いと18組、20組近く来て、ゼロ歳児、特に3カ月、4カ月の赤ちゃんを連れて親子で参加していただきます。その中でなれて、いろいろなことを見て、あ、私、この子をずっと抱いているけれども、この子いつも夜中に泣くけれども、でも半年たつとこんな感じになるのかな。1年たつと、あ、動くんだ、会話ができるんだ、お母さんの顔がわかるようになるんだ。そうすると、例えばちょっと預かるときに泣くと、ああ、お母さんえらかったねって。この子お母さんがわかるから、よそのおばちゃんがお預かると人見知りをして、それはお母さんを認識するから、お父さんを認識するから人見知りするんだよと言ってあげると、お母さんがとてもいい顔をされるんですね。

そういうふうにそばでお話のできる我々みたいなおばちゃんたちがいることが今のお母さんってすごく大事なんですけれども、今川越市の公民館ではほとんど全部がサロンをしていますから、そういうかわりが大分できているかと思うんですが、その次に、そこをもうちょっとステップアップしたときに、子供は1歳だったらそこまででいいんですけれども、また小学校に上がるころになると、それはそれで、特にお母さんは悩みがいっぱいあるんですよね。でも、そういうお話をサロンで幼稚園前の子供たちは会話する場所がある、お母さんと会話ができる。でも、幼稚園の中で、保育園の中でもあるとは思いますが、具体的にちょっとリスクを抱えていたり、何かこんなのを聞いたらと思うようなお母さんたちがたくさんいらっしゃるんだけれども、そういう会話のできる場所が今なかなかないようなんです。

特に公民館の子育てサロンは、顔がわかってくると、その場所でなくても、よそで、どこかで会ったときに、「実はね」というお話ができて、そういうことがすごくプラスアルファになるんですけれども、ただ、そうではなくても、いつも何か抱えているんだけれども、ではだれに相談しよう、その場所がないんですよね。学校に行けば先生がいるじゃないかっておっしゃるかと思うんですが、お母さんたちはなかなか先生にも言えない部分、それから、そうではなく、「何かあったら、市役所子育て支援課へどうぞ」と言ってくださるんですが、役所までわざわざ行って相談するかって、そこも正直な話、そこまでもないんです。井戸端的とか、ちょっと話をして、「うちもそうだったわよ」とか、「そんなことがあるわよね」って言ってもらうだけでほっとするお母さんたちがたくさんいらっしゃるんですけれども、正直そういう場所がない。

特に保健センターなんかでリスクのあるお母さんたちの会が幾つかあるんですけども、そこの方たちも、保健センターでやっているのは幼稚園までの、未就学の子までのお母さん、ですから、3人いれば、一番下の子が学校に入るまではそのグループに入っているいろいろな話を聞いてもらえますけれども、一番下の子が小学校に入っちゃうと切れるんですね。でも、そのリスクのあるお母さんたちは小学校に子供が上がったから、ではそのリスクは切れるかという、そうではなくて、いろいろなものを抱えているお母さんはそれはそれでまたずっと続くんですよ。では、その人たちはどこへ行くんですかと聞くと、子育て支援課にあるよ、家庭児童相談室があるよとおっしゃるんですけども、家庭児童相談室へ行って、わざわざこうですと話をしたときに本当にするか。逆にできないと言っているお母さんたちもいらっしゃるんですね。

そういうお話をすると、どこかで、自助グループとか何とかと言うんですけども、リスクを持っているお母さんたちってそこを何人かでつくっていくということもなかなか難しく、「いつも話したいのよ。何かもやもやするの」とおっしゃるので、私なんかはたまたまそのボランティアをしていたので、そういう人たちにはアドレスを教えたりして、電話をもらったりして話はするように心がけていますけれども、本当につらくなるとそれすらできないお母さんたちがいる。なので、ひとつお願いは、役所の中にある、子育て支援課がある、保健センターや何かがあるではなくて、本当にお母さんたちが行くと、あそこにいると、ちょっとおせっかいなおばちゃんやおじちゃんがいて話を聞いてくれるわよというような場所をできたらつくっていただきたいというふうに思うんですね。

それプラス中高生の居場所がないんですね。公民館の中に行っていたらをしているのは中学生って怒られる。夏休みなんかも走り回って、小学生もいますけれども、中高生の居場所がない。特に中学生、川越市内の児童館は本当に17歳、18歳までいいんですが、少なくとも小学校、中学生の何かやる、卓球台、将棋だとかとやる子供たちは行けるけれども、そうではない中高生はなかなかそういうところに行かれない。児童館も1つですよ。あとは併設されているところがありますけれども、行っていただくとわかるんですが、本当に乳幼児の子、小学校の低学年たちが多いいんですね。そうすると中高生の居場所というか、何かおまえたち邪魔だよというふうにされちゃうような感じのところがあるし、それから、お母さんたちにとっての自分の悩んでいること、大きなことではなくても、だれかと話をしたいという思いを会話をしてもらえるよというか、何か資格のある人や何とかでなくて、もちろん最低限のル

ールは必要だと思いますけれども、あそこに行くと話をしてもいい、それから、怒られることもない、だめだよって、6カ月健診、1歳6か月児健診、3歳健診に行ってもというか、最初の6カ月健診に行っても、保健センターには絶対行かないというお母さんも中にはいるんですね。保健師さんは何気なく言った言葉にすごく傷ついてしまって、保健センターを拒絶してしまうようなお母さんたちも今いらっしゃるんで、そういう、いいんだよ、ここはだれが行っても、でも、あなたたちが言ったことをだれにも言わないよ、守秘義務は守るよみたいな、そんな場所を、毎日とは思わないんですけれども、何かもうちょっと違う形で、若い親子さんたちを支える、それから、中高生の子たちが居場所もつくらせる、ばらばらにみたいなものは、ぜひ川越市内でもつくっていただきたい。

できれば、本当に地の利のいい場所、どうしても市役所だ、どこだではなくて、地の利がよくて、だれが行っても割と、あの人どこかへ行くんじゃないのと思われぬ、自然な場所にあると非常にありがたいかなと思います。

**市長** ただいまのお話はご要望といたしますか、どちらかというソフト事業といたしますか、場所を具体的につくるという問題よりは、そういう団体というのでしょうか、人の集まりをつくるような、そういうような工夫で対応できるのではないかという、そんな感じで聞いていたのですけれども、いずれにしてもご要望として検討させていただきます。

**意見** 場所的などころも、特に若いママたちが来てお話ができるような。

**市長** 例えばそれぞれ地区に地区の自治会館というか、そういうような場所があるのかと思うのですね。そういう場所をお借りしてもいいのかなというようなことを、その地域ではいいのかなという、そんなことを考えながら私は伺っていたのですが。

**意見** 地域ごとにつくるというのは非常に難しいことだと思うんですね。それよりも、ある程度のところで動けると、だから、その地域の人たちが行くということではなくて、逆に言えば、地域だから行きたくないという人も中にはいらっしゃるんで、そうではなく、もうちょっと違う形で集まりやすいというか、行きやすい、集まるというよりも、サロンみたいにグループで集めるとかではなくて、行きやすい場所に、ちょっと行くと話を聞いてもらえるよ、何となく話をしておさまっちゃったよと、今のお母さんたちはしゃべること7割、8割解決してしまうところが多いので、そういう部分もちょっと考えていただければなと思います。

#### 《キャリア教育、校種間連携》

**意見** 今日は私がお伺いしたいことは、先ほど学校教育の話が出ましたけれども、同

じなんです、川越市の小中学校においてキャリア教育がどのように推進されているかということについてお伺いしたいと思います。

それは、昨今は経済状況、情報化、少子高齢化など社会がたえず変化して、若者が自分らしさというものを確立することが以前にも増して難しくなっていると私は感じます。夢や希望を持つことができないで、フリーターとかニートなど働く意欲の薄い若者が増加しているのが現状だと思います。こういった状況を踏まえて、文部科学省では働く意欲の薄いフリーターやニートの対策として、平成 24 年度、今年からすべての公立小・中・高でキャリア教育の授業を行うこととしているんです。

このキャリア教育のキャリアというのは、よくキャリア官僚とか何か言いますけれども、そういったものではなくて、このキャリア教育のキャリアというのは、わかりやすく言えば、人生の中の仕事とかかわるすべて、そういうふうに言ってもいいと思うんです。また、キャリア教育というのは児童生徒一人一人のキャリア発達を支援してそれぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲とか態度、能力を育てる教育であると思います。簡単に言えば、勤労観とか職業観を育てる教育であると認識しているんですけれども、手っ取り早く言えば、小学校から働く教育をしようじゃないか、そういうことなんですね。

そこで私がお伺いしたいことは、川越市の小中学校でキャリア教育が各学校の教育課程の中でどのように位置づけられているのかなと、それが1つと、2つ目は、キャリア教育について意図的、計画的な年間指導計画がつけられてきているのかなというのが1つと、3つ目は、小学校、中学校の連携、小学校は小学校、中学校は中学校じゃだめだと思うんです。小中の連携が必要だと思うので、そういったことが今後どのように推進されているのかな。よく中学生が小学校に社会体験活動ですか、6日間来たりなんかしているのもそうだと思うし、小学校でいう、よく卒業文集に将来の夢とか希望とか書くのがありますけれども、そういったイベント的とか、そういう単発的なものではなくて、キャリア教育というのはそういうものではないと思うんです。もっときちんとした形で各学校が取り組んで欲しいということなんです。

ですから、今後そういうふうなニートやフリーターをつくらず、若者たちが働く意欲を持って進めるようなことを教育委員会がどのように考えていらっしゃるかということをお伺いしたい。

**学校教育部長** キャリア教育というのは進路指導とキャリア教育という形で、昔は進路指導ということでは言われていたんですけれども、生き方が大事だということで、生きる力の学校教育ということで、生きる力を養っていかうという部分が顕著だと思

ます。

その中で、特に今ご指摘されたようにキャリアということできざまな経験をいろいろな発達段階に応じてやっていこうということで、今私のほうも、実は川越市では中学1年生で社会体験事業ということで、中学生、全校の全生徒が、恐らくこの中にもいろいろご協力いただいている方々もいらっしゃると思うのですけれども、いろいろな事業所、あるいは建設場所だとか、あるいはお店だとか商店で働く機会を設けて、それは中学1年生です。今年から全校1年生になりましたけれども、2日間か3日間、そうしたのも当然そうなのですが、学校の中で、例えば小学校でいきますと生活科や、あるいは総合的な学習の時間、あるいは中学校においては特別活動の中でのそうした活動と技術家庭科などの作業的な学習等でいろいろな部分、年間指導計画に位置づけて取り組んでいるところです。

こうしたことは、今後さらにご指摘のように子供たちが夢を持って生きてほしいという強い願いを持って出ていますので、これをさらに着実に伸ばしていかなければいけないという認識ではおります。

あと校種間連携ですけれども、川越市は小学校、中学校で、今年は校種間連携担当ということで、今の新しい教育長になってから3年目でしょうけれども、小学校と中学校を連携した9年間連続したものとして見ていこうという形で、新しい試みですけれども、実は小学校の先生と中学校の先生を、例えば管理職である者を入れかえたりというような形の、積極的なそうした部分で、お互いに理解し合って、それぞれの利点、あるいは大事な部分を生かしていこうというような取り組みをえています。

そうしたものをまた絡ませながら取り組んでいきたいと思えます。

**意見** 青少年の健全育成という点からも、青少年が明るい将来を見据えて、自分の進路に向けて頑張れる、そういう川越市の若者を育成していただきたいなど、そういう思いからお話ししました。ありがとうございました。

#### 《学校区と行政区の統一、初雁球場の駐車場、外国人への家庭ごみの分け方・出し方の周知》

**意見** 学校区と行政区を一緒にしていただきたいということは、郭1丁目でいいますと、第一小学校へ行くのと、川越小学校へ行く子供といるわけです。それで我々は中央公民館に所属していて、初中に行く子が多いんですよ。わかりますか。というのは、町全体が初中のところと、一部が第一小学校なんです。それだけれども、中央公民館なんです。中央公民館にいろいろなことをやりに行くわけです。だからそのつながりがないんです。そういうことで学校区と行政区を一緒に、だから、郭町は北公

民館なら北公民館としていただきたいということなんです。同じ町内でこういう育成会が2つあるんです。

**意見** 第三の場合も東田町が泉小と中央小学校に行かれています。

**意見** そのようなところが、大手町もそうなんですよ。あと今成小のほうもそうでしょう。川越小へ行っているのと今成小へ行っているのとですね。月越と、そういうふうなことがあるんで、これがちょっといろいろな行政との交わりのときに、ラジオ体操もそうなんですよ、そういうことで。一応そんなことで、これはこれからの議題です。結論は今日はいただきませんから。

あと細かいことなんです、その野球場がありますね、郭町だから言っておきます。野球場で野球の試合があるときはグラウンドのほうのところを先にあげていただきたいということなんです。

というのは、看板が出るんですよ。看板に何と書いてある、「野球場関係者以外は駐車できません」と入れるわけです。それで野球をしている人は必ず天神様のほうがありますよね、あっちが先にあいていますからそっちへ行っちゃうんです。そっちは満杯になっちゃうんですよ。そうすると観光客が来ると入る場所がないんですよ。それで何でだか、市役所はお金を取るし、あそこは取ってないんですよ。そんな違いもあるし、博物館は博物館でまた博物館と美術館はこちらのもとテニスコートがあったところが駐車場になっていると思うんですが、そこが駐車場ですということで、あそこには管理者がいてやりますけれども、だから、私としては野球があってもなくてもあそこを看板を出さないでほしいということが1つあるんです。というのは、野球関係者以外はだめという看板を立てられちゃうと、あと入れないんですね。そんなことなので、よろしくお願ひしたいと思います。これは簡単なことですので、行政の中でやっていただければ決まるわけですから。

あともう1点、ごみなんです、これもだんだん解決していると思うんですが、外国から来る方々にごみの徹底する指導をお願いしたいということです。

というのは、構わずに、何でも構わず出す人が多いわけです。それは外国人ですので、わからないだけらしいんですけども、それでわかりましたと言っは、今度は別のところ、その地区の場所がありますよね、出す場所が、それを違う場所へ出せばいいという感じで、そうすると出されたほうは困るわけですよ。そのようなこともありますので、ごみの徹底を少しお願ひしたいということをお願いします。

**市長** それぞれ3点についてご要望ということで、特に最後の点については、いろいろ情報を与えて、日本におけるごみの分別収集を理解してもらって、それに従っても



らうように鋭意努力していきたいと思えます。あと野球場の看板についてはちょっと検討させてください。

本日は皆様方から大変多くの貴重なご意見を頂戴しまして、本当にありがとうございます。できる限り行政のほうに取り入れていきたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご要望や、いろいろご意見がございましたら、あるいは市民意見箱という方法、ないしは直接担当に言っていただくとかいろいろな方法でお寄せいただきたいと考えます。本当にありがとうございました。